

| | | | | | | |
|--------------------|--|----------|-----------|--------------|-----|-------|
| 学校教育目標 | 寛容で、たくましく、自ら未来を切り拓く人を育てます | | | | | |
| | <学校スローガン> 愛（I）から始まる市場中 ～人を愛し、自分を愛し、地域を愛す～ | | | | | |
| 学校概要 | 創立 | 73 周年 | 校長 | 平森 義教 | 副校長 | 渡辺 寿也 |
| | 3 学期制 | 一般学級: 18 | 個別支援学級: 4 | 児童生徒数: 682 人 | | |
| 主な関係校: 市場小学校、平安小学校 | | | | | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 | 市場中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|---|-------------------------|--|
| 【寛容】〈徳〉〈公〉 多様性を認め、共生・協働する力 【たくましく】〈知〉〈体〉 生きて働く知と健やかな心と体 【自ら未来を切り拓く】〈開〉 主体的に進取の精神をもち、夢と希望に向けて粘り強く努力しつづける市場の伝統（底力） | 市場中学校 市場小学校 平安小学校 | 地域の一員としての自覚をもち、社会で生き抜く力を身につけている人。いのちを大切にし、温かく思いやりあふれる豊かな心と健やかな体で、自ら学び続ける人。 ・併設型小中一貫校として、小中一貫カリキュラムの「指導と評価の一体化」を推進し、カリキュラムマネジメントの充実を図る。 ・教育への愛と情熱と高い専門性、豊かな人間性を磨くため、常に学び続ける姿勢を大切にし、組織的・計画的な教育活動の実践に努め、その教育活動の成果となる「生徒の姿」をしっかりと受け止め(評価し)、小中一貫教育の運営改善を図る。 |

| | |
|--------|---|
| 中期取組目標 | ○併設型小中一貫校として、学校教育目標を実現し「誰もが、安心して、豊かな生活」ができる笑顔あふれる学校づくりを目指す。 ○市場中学校が育む力を5つの視点で表し、社会に開かれた教育課程の推進を図り、相互に関連付けながらバランスよく育む。 【知】未来を拓く学習意欲 【徳】寛容と思いやり 【体】健やかな心と体 【公】共に生きる 【開】未来につなげる市場の心 |
| | ○次の取組みを実践推進する。 「挨拶・返事は心を込めて元気よく」 「一生懸命はカッコいい」 「困っている人に手を差し伸べる優しさをもつ」 |

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--|---|
| 生きて働く知 担当 学習指導部 | ・課題を発見し、解決する力と学び続ける力を育む。 ①生徒の基礎基本の定着を目指し、「わかる、できる、楽しい」授業を実践する。 ②主体的・対話的で深い学びの授業改善に努め、指導と評価の一体化を図る。 ③個に応じた授業実践を目指すため、少人数指導における指導内容、評価等、情報共有を的確に行う。 ④併設型小中一貫校として、9年間を見通した系統的で教科横断的な指導を進め、小学校との連携を図る。 ⑤自己表現力を高め、まとめる、発表する等、コミュニケーション能力の向上を図る。 |
| 豊かな心 担当 学習(生活)指導部 | ・認め合い、支え合い、成長し合う力を育てる。 ・自らの意志をもち、困難を乗り越えようとする姿勢を培う。 ・自己肯定感を高める。 ①肯定的な自己認識を育み、日常的な「いのちの教育」の実践を図る。 ②道徳教育の充実を図り、多様性を受け入れられる人を育てる。 |
| 健やかな体 担当 保険安全指導部 | ・自ら進んで健やかな心身の育成を図る。 ①自ら進んで体力の向上、健康の保持増進を図り、実践しようとする姿勢を育む。 ②自分や周囲の安全を守ろうと実践する姿勢を育む。 ③望ましい食生活を理解し、実践しようとする姿勢を育む。 |
| 共生・協働 地域連携 担当 生活(特活)指導部 | ・人の気持ちを考え、互いを認め合う力 ・他者と協働し、社会に貢献する力 ①生徒の状況把握を的確に把握し、日常的な教育相談を行って個に応じた指導に努める。 ②毅然とした指導と心情に寄り添った指導を行う。 ③生徒を「認める」「褒める」場面を積極的につくり、生徒の自尊感情を高める。 ④多面的に生徒の状況を把握するため、保護者・地域と連携する。 |
| キャリア教育 国際理解 担当 特活指導部 | ・たくましく、自ら未来を切り拓く人を育てる ①1年次に職業講話、2年次に職場体験等を通じて、キャリアに関する情報を活用し、将来を考える力を育む。 ②各学年で年次に応じたキャリア教育を行い、自己理解を深め、夢や希望に向けて粘り強く努力する姿勢を育む。 ③オリパラ教育を推進し、グローバルな視点を持ち、多様性を認め(共生)、協働の価値・意識を高め、社会参画力の向上を図る。 |
| いじめへの対応 担当 いじめ対策委員会 | ①授業や学校行事など、様々な機会を通じて生徒の自尊感情や人権意識を高める。 ②職員研修を活用し、いじめの定義や対応について共通理解と見守り・指導体制の構築を図る。 ③定期的なアンケートや日常的な教育相談を行い、生徒の状況把握を的確に行う。 ④保護者・地域と連携し、多面的に生徒の状況を把握し、指導にいかす。 |
| 人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務部・研究研修部 | ①全職員に向けた研修会を、研究研修部が中心となり定期的に行う。 ②個に応じた課題に向き合い、授業力・教師力の向上を図る。 ③授業力・教師力の向上を図るため、職員相互の授業見学を推進し、見られやすい、見に行きやすい雰囲気づくりに努める。 ④役割分担を適正にし、負担が偏らないように全職員が責任をもって仕事を行う。 |